

柏清風	11人
公明党	7人
日本共産党	5人
柏愛倶楽部	4人
市民サイド・ネット	3人
護憲市民会議	2人
無所属	4人
定数36名 現員36名	
平成28年7月11日現在	



防災救助訓練（手賀川）

撮影者：高村和恵さん
撮影時期：平成27年6月

6月定例会

中原緑地保全に質問集中 柏駅前の今後のあり方を問う

平成28年第2回定例会では、柏市特定児童福祉施設設備運営基準条例の一部改正、災害対応特殊救急自動車の取得、平成28年度柏市一般会計補正予算などについて活発な議論が行われました。慎重な審議の結果、追加上程された1議案及び議員提出議案2議案を含め18議案を承認・可決・同意しました。また、招集日散会後には、各委員会の行政視察の報告がありました（7面に概要掲載）。

◆ 可決された主な議案の概要 ◆

- 柏市特定児童福祉施設設備運営基準条例の一部を改正する条例の制定について
児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の改正に伴い、保育士の配置に係る特例を定めること等を行うもの
- 柏市介護支援サービス手数料条例の一部を改正する条例の制定について
緊急通報システム事業に係る市町村民税の課税世帯の手数料の額を改めるもの
- 柏市旅館業法施行条例の一部を改正する条例の制定について
旅館業法施行令の改正に伴い、簡易宿所営業の施設の客室の床面積に係る構造設備基準の特例を定めるもの
- 財産の取得について（災害対応特殊救急自動車）
救急車両の整備を図るため、災害対応特殊救急自動車を28,296千円で取得するもの
- 平成28年度柏市一般会計補正予算について
28年度柏市一般会計予算の総額を約1億9,795万円増額し、約1,247億6,795万円とするほか、継続費の追加及び変更に係る補正を行うもの

◆ 主な内容 ◆

質疑並びに一般質問	2～5面
委員会審査・議員提出議案	6面
委員会視察報告	7面
議案・請願議決結果	8面

◆ お知らせ ◆

- 第2回定例会の詳細をごらんになる方法
- 請願・陳情の方法
- 国に提出した意見書
- 9月定例会の日程(予定)

○ 定例会の流れ

◆ 招集日（6月3日）
◆ 採決日（6月22日）

市長から市政報告の後、副市長から15議案について提案説明がありました。

◆ 質疑並びに一般質問

（6月9・10日・13・16日）
23人が登壇し、議案及び市政各般に関する質疑並びに一般質問を行いました（2～5面に質問内容を掲載）。

◆ 委員会

（6月17・20日）

17日に総務委員会、20日に教育民生委員会、建設経済委員会をそれぞれ開催し、議案や請願を審査しました（6面に議案の審査内容を掲載）。

各委員長から審査の経過と結果の報告があった後、討論を経て、採決の結果、議案は全て原案のとおり承認・可決しました。また、追加上程された人事議案1議案についても採決し、同意しました。さらに議員提出議案（意見書）2議案を可決しました（6面に意見書を、8面に議案・請願の審議結果を掲載）。



質疑並びに一般質問

6日間にわたり、次の23人の議員が質問しました。
ここでは、その一部をお知らせします。
この記事は各議員が作成しています。

柏清風

助川 忠弘

●地域FMの整備

問 災害時には情報を正確に伝えるため、また平時には地域情報発信のために地域FMを整備すべきではないか。

答 災害時の地域FMによる情報提供は非常に有効な情報伝達手段と捉えている。また、地域の活性化にもメリットがあり、研究していきたい。

●中原ふれあい防災公園

問 中原ふれあい防災公園近接緑地取得の手法としてネーミングライツなど民間企業と連携して取得することはできないか。

答 今後も皆様の声を事業者に伝え、協議する。ネーミングライツの手法など可能な対応策を積極的に検討したい。

●地域情報発信アプリの開発



パレット柏へ続くエスカレーター

●市民が手軽に市内イベント

問 市民が手軽に市内イベント情報を入手できる情報アプリを開発してはどうか。

答 さまざまな団体のイベント情報を一覧できれば、市民の利便性も向上するので、わかりやすい情報発信に努めたい。

●給食のアレルギ対策

問 アレルギー研修や知識の乏しい教員への指導を行い、事故を防ぐ対応を強化すべきでは。

答 事前調査を実施し、保護者と学校で情報共有している。新任教員への研修の実施や実例を通して事故を防いでいく。

●小中学校のエアコン設置

問 小中学校にエアコンを設置すべきでは。

答 空調設備導入の調査委託を募集している。今後、導入方法の検討や準備をしていきたい。

●小中学校のプール補修

問 塗装の剥離だけがをすする児童もいるので、早目の補修をすべきでは。

答 学校と連携しながら改善に努めていく。

●パレット柏の入口

問 パレット柏の入口をもっとわかりやすくすべきでは。

答 案内表示の不備は来館者からも指摘された。今後、関係者

●手賀沼の活用

問 手賀沼でウエークボードやカヌー等の水上スポーツ環境の整備をすべきでは。

答 シティーセールスや地域観光の施策として手賀沼の環境整備を進める中で水上スポーツの推進に努めていく。

●新市道計画と道路整備

問 戸張ふるさと会館前の道路について、多くの児童生徒の通学路となっており、地域への説明をしっかりと行ってほしいが。

答 地元の方々の話をよく聞いた上で、いい形の道路をつくっていききたい。

円谷 憲人

●公園への防犯カメラの設置

問 子供だけで遊びに行くような公園にこそ防犯カメラの設置が必要なのではないかとの声があるが、市の考えは。

答 公園への防犯カメラの設置に関しては犯罪の抑止、犯罪不安の軽減などの効果が期待できると、設置対象とする公園の選定基準、設置や維持に要する経費等を十分に検討することが必要だと考えている。

問 カメラの設置も重要だが、木々の剪定などをきちんと行い、外からの死角をなくすような公園管理が必要だと思いが。

答 目線より下の、視界を妨げるような枝は防犯上も切ったほうがいいと思うので、実行していきたい。

●LINE(※)監視アプリについて

問 インターネットへの向き合い方に関する意見はさまざまである。LINE監視アプリの無償提供事業の実証実験を行っているが、具体的な運用方法は。

答 本サービスに登録すると、保護者は危険なやりとりの可能性を示す問題となる単語や相手方、日時などの警告を通知として受け取ることができる。

●LINEも含め、どんどん

問 LINEも含め、どんどん新しいツールがふえていて、指導する側もそれについていかなければならない。その点についての考えは。

答 例えばスマホがどのように使われ、どのような影響を与えていくかということも含め、大人がついていけないでは済まされない場合があるので、できるだけ学校の教職員、保護者が関心を持って取り組んでいきたい。

●小中学校のエアコン設置

問 小中学校へのエアコン設置のために空調設備調査委託はプロポーザルを行うとのことだが、その効果は。

答 公募型のプロポーザルを行う理由は、重要な課題に対する技術力、経験及び委託に臨む体制を含め、すぐれた民間事業者を求めたためである。

●振り込め詐欺防止機能つき電話機購入補助について

問 高齢者が振り込め詐欺や迷惑電話の防止機能がついた電話機を購入する際に補助金が出る制度があるが、予算増額を含めた今後の方針は。

答 既に50件以上の申請があり、予想を上回る申し込みがある。補正による予算の増額を含めて検討していく。

●住宅の耐震対策

問 昭和56年の建築基準を満たしていない市内戸建て住宅2万4000棟の耐震対策はどのようになっているのか。

答 木造住宅の耐震診断費及び耐震改修費の一部助成を行っている。また千葉県建築士事務所協会の協力を得て、無料の木造住宅簡易耐震診断相談会を年3回実施している。

●交通政策

問 高柳駅東口は乗用車が回転するスペースもないが駅前広場の整備や県道との接続計画は。

答 間もなく東武線の複線化、高柳駅の橋上駅舎化なども具体化されるため、今後高柳駅東口の整備についても関係者と事業化に向けて検討する。

●市が加入する保険

問 過去5年間に市が支払った保険料と受け取った保険金の差は2億円となるが行財政改革の面から見直すべきではないか。

答 リスク平準化などのメリットを考慮して適切に対応してきたが、今後は財政負担軽減も踏まえ、過去の実績や他の自治体の取り組みを参考に効果的な保険の活用を検討していく。

●平和啓発事業

問 近年の平和啓発事業は、その内容が戦争の悲惨さを訴えるもの、その対象が子供たちに偏っているように思われる。近年の事業の狙い、内容及び方向性はいかがか。

答 平和は、市民、企業、国、それぞれがそれぞれの役割を持ち、平和な世界を保つための努力が必要である。国においてはみずからみずからの力で守るという前提に立ち、世界各国は軍備を保有している状況である。平和を多面的に捉えるという意味で、平和啓発事業を今後拡大していきたい。

●小児医療について

問 市の小児医療の現状と今後の対応はどうか。

答 小児科医が待機する病院について、ホームページに公表するなどの体制を整えている。今後メール配信や子育て支援事業で情報提供を行う。一方で夜間と休日昼間に待機している小児科医は年間の約40%、日数では144日で毎日待機できている。当番医に行つたけれど小児科医がいなくてケースもあるため、受診に迷うときの相談先や判断の目安の啓発に今後積極的に取り組む。



予約型相乗りタクシー「カシワニクル」

●予約型相乗りタクシー

問 利用目標値(20人/日)未達成の原因とその対応は。

答 本年4月から利用環境向上のため、予約受付時間を利用時間の1時間前までに短縮した。7月に旧沼南地域を対象としたパンフレットの全戸回覧を実施し、一層の利用促進を図る。

●柏市公設卸売市場活性化

問 松戸市北部市場からの業者移転による影響と、これを契機とした市場の活性化策は。

答 充電設備や駐車場などが必要と思われるため、近く具体的な検討に入る。このたびの松戸北部市場からの参入を柏市市場再生のチャンスと捉え、活性化対策に取り組む。

阿比留 義顯

議会中継は スマホ でも

本会議の生中継はパソコンでの視聴のほか、動画共有サービス Ustream (ユーストリーム) を利用し、スマートフォンやタブレット端末でごらんいただけます。ぜひご利用ください。
(チャンネル名: 柏市議会本会議中継)

9月定例会の日程(予定)は8面をごらんください。

Twitter

やっています。

本会議や委員会開催などの情報を発信しています。

柏市議会
ツイッター
にアクセス

無所属

高松 健太郎

問 3月議会にも質問したが、現状と今後のスケジュールは。

答 現在、導入に向けた委託のプロポーザル募集を行っている。できる限り早期に実現できるように努める。

●小児医療について

問 市の小児医療の現状と今後の対応はどうか。

答 小児科医が待機する病院について、ホームページに公表するなどの体制を整えている。今後メール配信や子育て支援事業で情報提供を行う。一方で夜間と休日昼間に待機している小児科医は年間の約40%、日数では144日で毎日待機できている。当番医に行つたけれど小児科医がいなくてケースもあるため、受診に迷うときの相談先や判断の目安の啓発に今後積極的に取り組む。

※LINE(ライン) = 個人間やグループ内でチャット形式でメッセージをやりとりできるスマートフォン向けの無料通信アプリケーション。

公明党

小泉文子

●防災について

問 高齢者や障がい者などの要援護者の把握、受け入れの取り組みはどうするのか。

答 2次福祉避難所として市内の高齢者・障がい者施設、ホテル・旅館等の宿泊施設と協定を締結し、要援護者避難先として確保している。

問 庁舎や公共施設の耐震対策の認識と対応についてはどうか。

答 市全体の対象建築物の耐震化率は96・65%で、小中高等学校は全て耐震化している。本庁舎は今年度から3カ年で耐震工事を実施する。



耐震工事を予定している市役所本庁舎

問 自分の地域は自分で守ろうという「近助」を想定した訓練の取り組みはどうするのか。

答 今年度は自助、共助、公助の連携をテーマに地域と地区災害対策本部が連携し、実践に即した大がかりな訓練を実施する。

●保健福祉行政について

問 脳脊髄液減少症(※1)の周知、またブラッドパッチ療法(※2)の啓発と学校現場への周知をどうするのか。

答 相談への対応、保健所内の情報共有に努める。また研修会を通じ各学校の養護教諭や教職員に周知、啓発を行い、ブラッドパッチ療法の保険適用も各学校に情報提供していく。

問 性同一性障害について教職員の研修にどう取り組むのか。

答 昨年度は管理職、今年度は人権教育担当者を行った。学校保健会総会でも研修を行っており、7月には各学校の人権担当者を対象に研修を計画している。

●教育行政について

問 CAP(※3)を教職員のワークショップで行うべきでは。

答 教職員の研修としての位置づけを今後検討していく。

問 介護職を知る福祉教育を小中学校で実施すべきではないか。

答 他市の好事例を学校に紹介し、新たなキャリア教育のあり方を検討していく。

●子育て支援について

問 妊娠から出産、産後まで切れ目のない相談支援の日本版ネウボラを設置すべきではないか。

答 子育て支援部門と母子保健部門のサービス提供窓口を一体化させ、切れ目のない支援を行うため保健所と協議している。

中島 俊

●東口駅前百貨店閉店について

問 9月末で閉店する柏駅東口の駅前百貨店だが、市としての対応は。

答 柏駅東口の駅前百貨店と連絡を取り合いながら市としてできることを積極的に取り組んでいく努力をしたい。

問 市役所を東口駅前百貨店に移すのはどうか。現在分散している行政機能を移転し集約する考え方は。そして、役所時間ではなく早朝から開庁し、夜は8

時まで市民サービスを行う。特に求めたいこととして、土日も開庁するようにしてはどうか。

答 駅前の一等地に市役所機能がある市は利便性の面では高いと考える。ただし、利便性の高いところは不動産コストも高いわめる必要がある。また市民がよく利用する部署もあれば、そうではない部署もある。一部の機能でも市民の利便性が上がるのであれば先のバランスを考慮し、今後検討してみたい。

●つくばエクスプレス東京駅延伸について

問 この延伸計画と羽田空港、成田空港を結ぶ都心直結線との関連やオリンピックとのつながりにおける本市の取り組みは。

答 国土交通省所管の運輸政策審議会の答申で整備区画と位置づけられた。今後は国際競争力強化に向けての8つの事業の1つに挙げられている。また今回新たに東京駅から銀座を経て臨海部に至る臨海地下鉄構想との一体整備を検討することになっている。オリンピックとの関連については、東京圏の都市鉄道を取り巻く環境は大きく変化することから、オリンピックが終わった後の土地利用等を見据え取り組む予定である。

●待機児童解消に向けた保育の担い手確保について

問 全国的な課題となっている保育士の人員配置要件の緩和は。保育士の人員配置要件の緩和は。

答 利用児童が少数の朝夕の間帯の配置要件の緩和を行い、保育士の資格を有する者以外の者を保育士としてみなすことを可能とする。本市としては、国が示している子育て支援員研修の地域型保育コースを修了した者を充てることを考えている。

田中 晋

●防災対策について

問 過去の災害からの教訓を生かしていくのが大変重要である。これまでの事後対処から事前防災を真剣に考え、首都直下型地震への備えの仕組みを確立していくべきではないか。

答 地域防災計画における予防計画の中で想定される災害に対してあらかじめハード・ソフト両面からの対策を講じていく必要がある。地域住民や防災関係機関と連携・協力していく。

問 本市の帰宅困難者対策はどのように取り組んでいるか。

答 鉄道事業者や宿泊施設等の事業者と柏駅周辺帰宅困難者対策ネットワークを設立した。また一斉帰宅抑制を啓発するリーフレットや帰宅困難者支援マップを作成し、帰宅困難者の発生抑制に取り組んでいる。

●食品ロスについて

問 あらゆるところで見受けられる食品ロス(※4)だが、本市でも学校や幼稚園、保育所で教育施設における学校給食や食育環境教育を通じて食品ロスの削減を啓発すべきではないか。

答 成長過程における食育を通じて生産者への感謝の気持ちを育むとともに、環境教育では3R



寄附により集まった食料

無所属

上橋 泉

●市立病院建てかえについて

問 市長は市立病院建てかえは急務であると言いつながら、市立病院整備基本方針策定の段階で検討済みの内容を再度審議会の分科会にかける。当初この再検討のために2カ年もかけると言っておられた。市長の発言に矛盾はないか。市長は地域医療をめぐる環境が変わったと答弁されたが、県の地域医療構想が急性期の病床を減らし、回復期・慢性期の病床をふやすというような内容になると何年も前から言われていた。医療環境は変わっていないのではないか。

答 市立病院の建てかえは喫緊の課題であると認識しているが、各公立病院は地域医療構想を踏まえてみずからの病院の役割を定めることになり、いま一度、中期構想にさかのぼり、白紙から再検討すべきと考えた。

●医療と健康について

問 学校健診のうち、小学校4年生でも心電図検査を実施してほしいがどうか。

答 心臓健診については、現在学校保健安全法に基づき、小学校1年生、中学校1年生、市立高等学校1年生を対象に実施しているところである。心臓健診は、学校健診の中で最も重要な検診であり、日本学校保健会発の心臓健診の手引きには、小学校6年間のうちにもう一回、全員に心電図検査を含む心臓健診を実施することが望ましいとされているところであり、御提案のあった小学校4年生を対象とする心臓健診については現状では実施に至っていないが、今後検査に向けた条件整備や医学的見地などを含めた検討を行っていく。

無所属

内田博紀

第2回 定例会の詳細を ごらんになる方法

質疑並びに一般質問の詳しい内容は、
以下の方法でごらんください。

録画 中継 市議会HP→本会議中継「平成28年分」→平成28年第2回定例会録画中継

会議録 暫定版 市議会HP→会議録「平成28年第2回定例会 会議録(暫定版)」
※会議録ができるまで暫定的に公開する校正中の会議録原稿です。

会 議 録

本会議や委員会の内容を記録した会議録は、ホームページで見ることができます。また、本会議会議録については図書館本館・分館でも閲覧いただけます(第2回定例会会議録は9月上旬公開予定)。

※1 脳脊髄液減少症=脳脊髄液が脳脊髄液腔から漏出することで減少し、頭痛やめまい、耳鳴り、倦怠などさまざまな症状を呈する疾患。
 ※2 ブラッドパッチ療法=硬膜外自家血注入療法のこと。髄液が漏出している付近に針を挿入(硬膜外穿刺)し、その針から硬膜外腔に自身の血液を注入し、そこから硬膜外腔に広く血液が広がることで徐々に血液が固まり、硬膜の穴を塞いでいく方法。
 ※3 CAP=Child Assault Prevention(子どもへの暴力防止)の略で、子どもたちがいじめ、誘拐、性暴力等のさまざまな暴力から自分の心と身体を守るための教育プログラム。
 ※4 食品ロス、フードバンク=まだ食べられるのに、さまざまな理由で処分されてしまう食品(食品ロス)を集め、福祉の面で必要な方に提供する活動団体(フードバンク)。

日本共産党

矢澤英雄

●子どもの権利条例制定
 子どもの権利に関する条例の制定を求める。

●児童福祉法の一部が改正された。ここで明確にされた全国共通の理念に基づき、子どもの視点も重視した子どもに関する施策を積極的に取り組んでいく。

●子どもの貧困対策

●子ども食堂(※1)に対し、近隣センターの使用料免除など、具体的な支援を。

●相談があれば、協力できることは受けていく。いろいろな形で活動をどんどん支援したい。

●就学援助の拡充

●就学援助の入学準備金は、入学前に支給すること。文部科学省も「援助を必要とする時期に速やかに支給できるように」と通知を出している。

●保護者の経済的負担を軽減する重要性は認識している。現状より少しでも早く支給できるように努力する。

●こどもルームの充実

●こどもルームの過密解消と

護憲市民会議

末永康文

●中原防犯公園隣接地保全
 〇この場所は、住民の多様な活動拠点として林の清掃や整備をし、市民が緑を守ろうと113万円の寄附がされた。市として購入、借地など交渉窓口をしっかりと設けるべきでは。

●保全に向け地権者の方と交渉したが合意が図れず、関係者

小4以上の希望者の受け入れを。

●過密状態の緩和と受け入れ人数の拡充を行っている。今年度、富勢小、柏六小、十余二小、光ケ丘小について整備費用の予算を計上している。今後も児童数がふえると見込まれる地域を中心に整備していく。

●せめて夏休みだけは預かってほしいという切実な声がある。夏休みについては特別な体制をとること。土曜日の朝の時間外保育の実施を。

●夏休みはできる限り受け入れていく。土曜日の時間外保育は検討する。

平野光一

●本市でも奨学金制度を

●多くの市町村に無利子の奨学金貸与制度がある。本市にはそれさえない。市長には奨学金制度をつくる考えはないのか。

●現時点では市独自の新たな奨学金制度を創設する考えはない。

●市内の大学等に要望を

●大学等にも入学金・授業料減免制度が広がっている。市内大学等に制度の創設・拡充を市長から要望していただきたい。

●各学校の運営方針に基づき

●皆様に對して深くおわびを申し上げる。

●買収できなければ借地する

●どりの基金を活用し「森のようちえん」をつくり、子供たちが森でいるんな工夫をし育んでいくためにも用地確保が必要では。

●「森のようちえん」も今後検討していきたい。

●情報公開

●情報公開は民主主義の基本である。最近の市の姿勢は個人

●設けている。市が独自に働きかけることは今のところ考えていない。

●低所得世帯の子の学習支援

●小5・小6対象の未来塾、中学生対象の学習支援事業が低所得世帯の子どもを対象に行われているが、さらに対象を広げ会場・回数もふやすべきだ。

●まずは、現在の中学生への支援を充実させる。参加対象者の拡大、会場や回数をふやすことなどが考えられる。今後検討する。

●生活保護のアルバイト収入

●2年前の厚生労働省通知で、生活保護世帯の高校生が運転免許取得や進学等のためアルバイト収入をためることが認められたが、担当課で徹底していない。子ども向けの学習・進学支援の「手引き」も作成し周知を。

●職員の資質向上のための研修に力を入れる。わかりやすい文書をつくり配布・周知する。訪問活動の中で懇切丁寧に説明もする。小学生も含めた周知については関係部署と協議する。

渡部和子

●柏駅西口北地区再開発事業

●平成26年、27年それぞれ約

●情報を隠れみのに明らかにしない傾向がある。隠すことなく明らかにすることが大事では。

●中学校で発生した重大事態については、有識者による検証委員会での検証を行い、調査報告書を作成した。事故の当事者の保護者から報告書の一切について非公開にしてほしいと強い要望を繰り返したとき、家族の心情並びに意向を配慮して全て非公開としている。

●柏市立病院

●2000万円かけて事業化推進委託報告書をつくっている。事業費や市の負担については墨塗りされているが明らかにすべき。

●整備計画案の変更を検討している段階なので、具体的規模や事業費を示す段階ではない。

●総事業費はおおよそ1220億円、本市の負担は210億円と推定される。市の報告書には年度負担能力を超えると記載されているが、どのくらいなら負担できると考えているのか。

●一概には申し上げにくい。

●住民の声を真摯に聞くというのはどういうことか。

●丁寧の説明していくことである。

●市立柏病院

●施設の老朽化で建てかえを急ぐと説明してきたが、建てかえの緊急性はなくなったのか。これまでの検討を全て白紙に戻す必要があるのか。

●耐震上問題を抱えているが、環境の変化、県の地域医療構想を踏まえ、建てかえの是非から施設のあり方を審議してもらおう。

●病院の立地場所は誰が決めるのか。

●市長を含めて市役所である。

●保育園の充実

●前回の中期構想1400万円を白紙にし、今度1300万円をかけるのは市長が払うのか。

●専門的な知識を最大限活用し、効率的な事務を進めるためにコンサルに業務委託をした。

●センターが必要である。

●市直営の運営は考えていない。

●今年度は、総合事業や認知症対策など業務量がふえている。業務量に見合った職員体制に増員すべきである。

●業務量に見合う適正な職員配置を進めていく。

●災害時の障害者支援

●障害者支援がスムーズに行えるように、志木市では、災害時支援用のパンダナを作成している。本市も作成してはどうか。

●障害者当事者団体の意見も確認し、検討していく。

●「くらしの便利帳」について

●市民にとって利用しやすい「くらしの便利帳」とは。

●NTTタウンページに掲載するスタイルに統一していく。

日下みや子

●国保料の値上げは許されない

●4月1日付で28年度の国保料が告示され、所得300万円の夫婦・子供の4人家族の場合の保険料は44万7200円から46万5600円に1万8400円も値上げされた。保険料値上げ分の総額は4億円だが国からの支援金や財政調整基金8億円を使えば保険料の値上げはせず

●さまざまな議員から提案をいただいた。どういう形で今後業者と交渉可能か詰めていく。

●地域包括支援センターの安定的運営を求める

●今年度、光ケ丘地域包括支援センターが突然閉鎖をした。利用者にどれほど不安と混乱を与えたか。直営の地域包括支援

●に済んだのではないか。

●基金の額は、2月診療分の支払いが非常に厳しくなるので、今後議論して、どれくらい入れられるか当初予算で発表する。

●ごみの減量化について

●排出量、総資源化率、最終処分量はどうなっているか。

●家庭系ごみは減少傾向だが、事業系ごみは増加傾向になっている。総資源化率は低下傾向にある。最終処分量は、南部クリンセンターの灰溶融施設が休止のため6000トンから26年度1万273トンになった。

●沼南に進出の大型店周辺の交通対策を

●駐車場入口や側道の改善が必要ではないか。

●対策をとっており、著しい渋滞は緩和されている。

●大型店前のバス停にバスベイ(※2)をつくるべきでは。

●現段階では考えていない。

●公衆電話の再配置を

●増尾地域に撤去されたしまった公衆電話の再設置を申し入れてほしい。

●第一種公衆電話はおおむね500m四方に1台設置することになっている。当該地域は基準を満たしているとのことだが、地元の意向は伝えたい。

●地元の団体が長期間、緑を維持する活動はすばらしいと思う。ここは特別だと言える。今回の議会での提案も含め交渉する。

●市立柏病院について

●今まで2年間、1400万円かけて答申したことを全て白紙にし、今後また2年、1300万円かけ審議会を10回開いて議論をやり直すとのこと。今ままで検討したこと全てを無駄にすることは問題である。また、今

●後検課題に建設場所と小児科を含めないとのこと。一番肝心なことが抜けている。

●建設地の議論を一旦白紙とし、病院に求められている役割等を改めて検討する。中期構想策定時にはなかった地域医療構想を踏まえ、議論する。

●パレット柏について

●駅からの案内板が必要では。

※1 子ども食堂=近年増加している孤食や貧食の子供を支援するために、NPO等が主体となって運営している食堂。
 ※2 バスベイ=スムーズな車の流れや、乗客の安全性を確保するために設置するバス専用の停車スペース。

柏愛倶楽部

吉田 進

●市街化区域の緑地保全対策
 市街地の緑地保全の現状は地権者の御厚意によることが多い。中原防災公園隣地の林が開発されようとしている。林の保全に対する市長の見解を伺う。

●市街地における緑について
 さまざまな価値を認めている。市としても何らかの対応ができるよう努力をしていきたい。

●消費税先送りによる影響
 医療、介護、子育て支援の社会保障関係の取り組みへの予算の影響はないか。

●財源の確保や充実策のスケジュールの見直しを検討される。国の動向を注視していきたい。

●運動広場トイレの現状
 和式トイレの改修等、環境整備をどのように捉えているか。できる限りの洋式化、環境整備に配慮していきたい。



改修された逆井運動場屋外トイレ

●健康政策と児童の健康管理
 弱視等の治療は6歳未満が有効である。3歳児健診に眼科医の従事を求めるがいかがか。また、弱視等発見に有効なオートレフラクトメーター(※1)を全ての子供に実施してどうか。

●対象者を適切に選択している。先進的に3歳児健診や幼児保健中の健診結果を引き継ぎ、還元する体制を構築する考えは。

●先進市の事例も参考に関係部署と連携し調査研究を進める。児童福祉法等の改正
 中核市で児童相談所が設置できることについて市の考えは。

●今後県と協議し検討する。

●DV対策
 DV被害者はあらゆる機関に相談するケースが多い。迅速に救済するためにもワンストップ窓口を設置してはどうか。

●重要な課題と認識し、協議、調整しているが、具体的な体制整備には至っていない。今後も設置の検討も含め関係機関との連携強化を図っていく。

●被害者のフォローと同様に加害者の更生も必要ではないか。DV根絶のため重要な課題であるが更生プログラムが確立されておらず直接本人に対応できていないのが現状である。県で行っている男性の総合相談制度を案内する形で対応している。

●自転車保険
 自転車保険加入を義務づける条例の制定を。加入促進をしているが条例化については市単独ではなく広域的な対応が効果的と考える。

●広域的な対応の方がもちろん効果的だが、事が起こってから対応では遅い。せめて市内中学校の自転車通学者に義務づけるべきと考えるが。

●保険料負担の問題もあるので教育委員会と連携し、一層の加入促進が必要であると考える。

●情報モラル教育
 ネット型非行防止を目的としたLINEアプリのFiiiii(※2)について実証実験期間中であるが、これまでの評価は。賛否は分かれている。寄せられた意見や課題を分析し、今後の継続の是非も含め、非行防止に向けた実践的な指導につなげていく。

●市長の政治姿勢について
 本市の魅力のPR方法について、特に市外通勤者への情報発信は、十分と言えるか。

●いまだ、課題の一つであると考えている。さらに効果的な情報発信に努める。
 ●子育て支援について

●「みどりの基金」で中原ふれあい防災公園隣接林を保全
 市内の緑地保全を目的としている「柏市みどりの基金」を林の保全に活用できないか。

●基金で取得する土地はみどりの基金緑地取得保全規則に定められており、事業計画に定められた後、評議員会及び理事会の承認を得て買収することになる。

●みどりの基金緑地取得保全規則は内規であり、変更することができるのではないか。

●理事会、評議員会で議決されれば変更することができ。

●柏駅西口北地区再開発問題
 地域に住み続けたいと願う住民との話し合いはどのように進めているのか。

●整備計画案を検討している準備組合の理事を交えて意見交換を行っている。

●委託報告書の中で事業協力者D社は、一旦戸建て街区を設けた計画案を提示し、後で変更する対応も考えられると、だまし討ちのようなやり方で住民を丸め込もうとしているが、こうした話が実際に行われたのか。

●あくまでも事業協力者側の考えであり、組合としてもそのような形で事業協力者を利用するという考えではないと思う。

●医療公社に対する監査
 医療公社が基本協定を守っていないかった。市職員と公社職員で基本協定を作成したにも関わらず、なぜ守れないのか。

●関係書類の確認を双方で密にされている。現状の運営に沿った変更を行った。

●避難所の充実を
 学校は体育館のみ避難所だが、避難者を収容できるのか。

●市が指定する避難所の収容人数は想定避難者の約4割なの

●教育委員会としては、学校が積極的に外部の機関等と連携し、正しい知識を身につける機会が適切に設けられるよう努めていく。

●選挙対策について
 共通投票所及び商業施設を利用した期日前投票所拡大についての考えはどうか。

●共通投票所については今後継続して検討する。期日前投票所拡大については実際に商業施設等から申し入れがあった場合に十分に検討した上で考えたい。

●柏駅前のまちづくり
 イメージアップのイベントだけでなく、歩行者優先のまちづくりなど明確な都市計画を示すべきではないか。

●歩行者優先の道路ネットワークは、ショッピングセンターにない駅前の魅力となる。関係者と協議し、検討する。

●旧水戸街道沿い歩道のバリアフリー整備計画の進捗は。

●29年度に実施設計、30年度に工事着工を目指す。

●インバウンド政策(※3)
 民泊のルールづくりを。

●調査研究し、対応する。

●ハラールフード(※4)や食物アレルギー対応など、食のおもてなしで、外国人観光客を取り込む体制整備を。

●ビジネスチャンスと捉え、他の動向を注視し、研究する。

●議員や業者にアンケート調査を行い、違法、不当な支出の事実は確認できなかったと結果を出したが、未提出の議員や業者がいる。第三者委員会をつくった市もあるのに、調査が不十分ではないか。また公費を削減した市も多いが、いかがか。

●市民が千葉地裁に訴訟を起こしたので、答弁は差し控える。

●厚労省でも里親委託や養子縁組を推進する方向性を示しているが、本市の見解はどうか。

●児童相談所を設置しないと支援や啓発を行うのは難しいのか。

●市では児童相談所を設置していないので、普及や啓発などの支援は実施していないが、子育て支援として里親支援も行う。

●給食室改修工事中の代替給食
 貧困やネグレクトで、給食が栄養バランスの整った唯一の食事である子供がふえている。

●小中学校のエアコン設置
 当事者である子どもたちの声も聞き、ハード面だけではなく、授業時数や授業行事のあり方など、ソフト面での検討を。

●学習・生活環境を改善できるように、児童生徒の声も聞き、エアコン設置を検討する。

●市民の思いや社会の現状を反映した市政のあり方
 創造的解決手法であるデザイン思考を取り入れては。

●政策立案に期待できる。職員研修の導入も検討したい。

●地域の認知症支援体制
 認知症患者と介護者を同時に訪問支援する仕組みを。

●訪問支援の担い手となる認知症サポーターを育成する。

●パンと牛乳の代替給食では栄養バランスが欠如していないか。

●困窮世帯児童への助成は代替給食のみが対象だが、持参の弁当も対象とするべきではないか。

●不足分の栄養は、副食の持参で補う。就学援助は現物給付なので弁当に援助はできない。

●給食費に本市が負担している経費も合わせた金額で代替給食を検討し直すべき。松戸市は弁当にも助成しているがどうか。

●調査して研究する。

●小中学校の宿泊学習
 旅行費用の負担が重い学校を指導しているか。少額ずつの積み立てができるよう統一すべきではないか。困窮世帯が前払いせずに済む方法はないか。

●上限や目安の金額を設定して格差を正に努めているが、他自治体も調査し研究する。

●子供の貧困をなくすため、学校での保護者の経済的負担についてもっと調べてほしい。

●把握に努めたいと思う。

市民サイド・ネット

松本 寛道

●「みどりの基金」で中原ふれあい防災公園隣接林を保全
 市内の緑地保全を目的としている「柏市みどりの基金」を林の保全に活用できないか。

●基金で取得する土地はみどりの基金緑地取得保全規則に定められており、事業計画に定められた後、評議員会及び理事会の承認を得て買収することになる。

●みどりの基金緑地取得保全規則は内規であり、変更することができるのではないか。

●理事会、評議員会で議決されれば変更することができ。

●柏駅西口北地区再開発問題
 地域に住み続けたいと願う住民との話し合いはどのように進めているのか。

●整備計画案を検討している準備組合の理事を交えて意見交換を行っている。

山下 洋輔

●教育委員会としては、学校が積極的に外部の機関等と連携し、正しい知識を身につける機会が適切に設けられるよう努めていく。

●選挙対策について
 共通投票所及び商業施設を利用した期日前投票所拡大についての考えはどうか。

●共通投票所については今後継続して検討する。期日前投票所拡大については実際に商業施設等から申し入れがあった場合に十分に検討した上で考えたい。

林 紗絵子

●厚労省でも里親委託や養子縁組を推進する方向性を示しているが、本市の見解はどうか。

●児童相談所を設置しないと支援や啓発を行うのは難しいのか。

●市では児童相談所を設置していないので、普及や啓発などの支援は実施していないが、子育て支援として里親支援も行う。

●給食室改修工事中の代替給食
 貧困やネグレクトで、給食が栄養バランスの整った唯一の食事である子供がふえている。

●小中学校のエアコン設置
 当事者である子どもたちの声も聞き、ハード面だけではなく、授業時数や授業行事のあり方など、ソフト面での検討を。

●学習・生活環境を改善できるように、児童生徒の声も聞き、エアコン設置を検討する。

●市民の思いや社会の現状を反映した市政のあり方
 創造的解決手法であるデザイン思考を取り入れては。

●政策立案に期待できる。職員研修の導入も検討したい。

●地域の認知症支援体制
 認知症患者と介護者を同時に訪問支援する仕組みを。

●訪問支援の担い手となる認知症サポーターを育成する。

●パンと牛乳の代替給食では栄養バランスが欠如していないか。

●困窮世帯児童への助成は代替給食のみが対象だが、持参の弁当も対象とするべきではないか。

●不足分の栄養は、副食の持参で補う。就学援助は現物給付なので弁当に援助はできない。

●給食費に本市が負担している経費も合わせた金額で代替給食を検討し直すべき。松戸市は弁当にも助成しているがどうか。

●調査して研究する。

●小中学校の宿泊学習
 旅行費用の負担が重い学校を指導しているか。少額ずつの積み立てができるよう統一すべきではないか。困窮世帯が前払いせずに済む方法はないか。

●上限や目安の金額を設定して格差を正に努めているが、他自治体も調査し研究する。

●子供の貧困をなくすため、学校での保護者の経済的負担についてもっと調べてほしい。

●把握に努めたいと思う。

※1 オートレフラクトメーター=視力検査に用いられる機械。光学的な原理に基づいて、近視、遠視、乱視の原因となる屈折度数を測定する装置。
 ※2 Fiiiii(フィリー) =子どもが利用するSNSの会話データを分析して、いじめや犯罪に関係するキーワードが含まれている場合に保護者に伝えるサービス。
 ※3 インバウンド政策=訪日外国人旅行者誘致政策。
 ※4 ハラールフード=イスラム教の法律にのっとった食べ物(野菜、果物、魚、卵、牛乳、イスラムの方式にしたがって屠畜された動物の食肉、あるいはその派生物)。

委員会審査

市長から提出された条例や補正予算などの議案について、各委員会で審査されたものをお知らせします。

総務委員会

●職員自己啓発等休業条例制定
 休業して職務に復帰した場合、休業した全ての期間を休暇したものとする取り扱いと、一定程度常駐で勤務したものとす
 る取り扱いと2つの方向が示されているが、この判定というのはどのような根拠に基づいて基準を定めるのか。
 答 給与の級号給の調整については、基本的には休業した期間の100分の50を除外するが、

その活動が復帰した職務に特に有用であると認められるものについては、休業期間の100分の100を勤務したものとみなして換算し、復職時に給与、級号給の調整を行う。その基準については、職務に直接有用な資格等を取付した場合、また国際ボランティア活動の場合は現地での活動が職員本来の職務と同様または類似の活動を行った場合は100分の100として給与の調整をする。

●休業の期間が2年以内となっているが、大学に通って履修をするときに2年以内に縛るということについてはいかがか。
 答 専門的な知識、技能、資格を取りたいといった自己啓発を対象としているため、大学については4年間の一般教養ではなく、専門課程を想定している。そのほか大学院の博士課程、修士課程は2年間。資格を取得する専門学校は1年もしくは2年。短期大学も2年が多い。また大学も専攻課程以外に専攻科という履修もあり、その場合は1年ということ、それらを想定して2年としている。

●松戸市ほか9市消防指令事務
 協議会規約制定に関する協議
 救急の広域運用についてはどのような取り組みが行われているのか。
 答 救急のメリットとしては共同指令センターを運用することで、各市町村の市境でも常に近い場所の救急車が現場に行くことができる。

教育民生委員会

●児童遊園設置条例一部改正
 今後整備する予定はないとのことであるが、無償で提供する方が出てきたらどのように考えるか。
 答 ポールを使ったり昔ながらの遊びができるところが少なくなっている。そういう遊びの場を提供できる場所があるというのは市民にとって喜ばしいことだと思つので、申し入れがあった場合は種々検討していきたい。

●今後の費用見込みについて算出はしていないが、10市で指令センターを共同運用するの
 で、初期の整備部分やランニングコストなどがある。

●特定児童福祉施設設備運営基準
 条例一部改正
 幼保連携型認定こども園設備
 運営基準条例一部改正
 ●地域型保育事業設備運営基準
 条例一部改正
 改正することにより、実際に定員がふえたり配置が変わるなど影響を受ける園はあるか。
 答 朝夕の子供の少ない時間帯では配置基準の計算上、保育士が1人でも済む園が私立だと10園程度あり、そのうち5園程度が今回の措置を考えていると見ている。

●保育士の質の確保をしっかりとしたいが、無償で提供する方が出てきたらどのように考えるか。
 答 有資格者以外で市長が認める者として充てようとする者には、新制度の子育て支援員の地域保育型コースの研修をまず受けてもらう。また、研修を受けた支援員を配置する場合は、必ず有資格者と組み合わせる必要があり、研修の浅い者同士が組むことのないよう運営上の配慮をしていきたい。

建設経済委員会

●調停の申立て(市営住宅の明け渡し等の請求)
 市営住宅に高齢で独居の方が入居する際には、必ず身元保証人や連帯保証人をとっているのか。いない方は入居できないのか。
 答 連帯保証人や緊急連絡先等の申し出を受けているが、全く孤独な方や、親戚関係のつながりが希薄な方の場合に連帯保証人等を選任できない場合がある。極力選任する努力をした上で、どうしてもならない場合に、特別な理由として保証人なしで入居を許可している例もまれにある。

●公立保育園全園に常勤または非常勤の看護職の配置を行っているが、保育士とみなして必要な配置数に算入している園はない。私立については、配置している園が10園。そのうちみならずとして扱っているところが7園程度あるという認識である。

●28年度一般会計補正予算
 障害者の地域生活支援拠点整備について、障害者の相談窓口を市役所から事業者民間委託するものなのか。
 答 住民の方が気軽に相談ができる地域の窓口をふやしていくコンセプトで考えている。

●市立病院のあり方検討支援業務委託について、柏市健康福祉審議会市立病院事業検討専門分科会で一般公募により選定された委員へ期待する役割は何か。
 答 それぞれが医療のバックボーンをお持ちであり、市民という視点と合わせて積極的な御意見をいただけるのではないかと期待している。

請願・陳情の方法

行政などへの要望を「請願」「陳情」として文書で議会に提出することができます。

●請願 本会議・委員会で審議されます。内容に賛同する紹介議員(柏市議会議員)の署名または記名押印が必要です。
 ●陳情 全議員へ写しを配付しますが、審議はされません。紹介議員は不要です。
 ●提出方法 任意の用紙に請願や陳情の件名、具体的趣旨、説明または理由などをわかりやすく記載してください。場所を示す場合は地番を明示し、「[図面]」を添えてください。
 代表者の住所・電話番号・氏名(署名または記名押印)を記載の上、議会事務局(本庁舎6階)へ直接御提出ください。
 ※署名簿は、各自が住所・氏名を署名または記名押印してください。
 ※随時受け付けておりますが、請願は、定例会ごとに招集日の午後5時を締め切りとしています。

●28年度一般会計補正予算
 障害者の地域生活支援拠点整備について、障害者の相談窓口を市役所から事業者民間委託するものなのか。
 答 掛ける宿泊者の数となった。

●28年度一般会計補正予算
 手賀沼アグリビジネスパーク事業にかかわっている農家は何軒くらいあるのか。
 答 手賀沼周辺地域で営農している専業農家は200軒近くある。また、市全体で約600軒ある兼業農家の約半数の農家が関係している。

議員提出議案 国へ意見書

公立保育所の直接補助制度を求める意見書
 我が国の人口は、平成17年に減少局面に入り、特に少子化問題は、社会経済の根幹を揺るがしかねない緊急課題となっている。
 少子化問題の中でも子育ての分野では、待機児童の解消が重要課題となっており、全国各自治体で待機児童解消に向けた取り組みを進めている。
 特に、公立保育所の重要性はほとんどの市町村が認めているものの、平成16年度より、公立保育所の運営費等の一般財源化制度を国が導入して以来、自治体の財政を圧迫し、市町村によっては公立保育所が老朽化等により廃所となるなど、自治体の保育運営に影響を与え、待機児童解消に逆行する事態を招いている。
 待機児童の解消を図るためには、認可保育園のみならず、地域の児童福祉施設としての公立保育所の存続も不可欠である。
 よって、政府においては、少子化対策の促進とともに待機児童早期解消を図るため、公立保育所一般財源化を廃止し、直接補助制度に戻すよう強く要望する。
 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
 平成28年6月22日
 千葉県柏市議会
 内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当(少子化対策)大臣 あて

保育士の処遇の大幅な改善を求める意見書
 我が国の少子化問題の中でも待機児童解消が喫緊の課題となっている今日、保育施設の不足のみならず、保育士がいないために、子供を受け入れることができない施設が生じる等、保育士不足は全国各市町村共通の大きな課題となっている。
 保育士不足は、賃金の低さや労働環境の厳しさが大きな要因として挙げられ、賃金については、一般の労働者に比べ、月額約10万円低いことが国会でも明らかにされたところであり、また、労働環境は、休憩や休暇が十分に取れず疲労が解消できない人員配置等が問題となっている。
 そのため、職業として働き続けることができず、多くの保育士が辞めていく実態が顕著となり、また復職を希望する有資格の保育士も少ないのが現状である。
 保育士不足解消のためには、賃金を労働者の平均まで引き上げることや実情に即した人員配置等による労働環境整備の実現が不可欠である。
 よって、政府においては、喫緊の課題である待機児童解消のため、保育士の処遇を大幅に改善し、保育士不足を解消するよう強く要望する。
 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
 平成28年6月22日
 千葉県柏市議会
 内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当(少子化対策)大臣 あて

本会議最終日、議員提出議案2件を可決し、国に意見書を提出しました。提出した意見書の内容は、以下のとおりです。

◆岡山市では、インターネットを活用した「電子町内会」を設け、町会のイベント等のお知らせや、会員同士の交流に活用し、地域の課題解決等に取り組んでいる。また、「ESD(※)プロジェクト」では、公民館や小中学校を中心にさまざまな団体がESDを学び、地域の課題解決に向けて、主体的な地域活動へとつなげている。



東近江市
「あいうエコプラザ菜の花館」

◆池田市では、全国初の制度として、小学校区を単位とした11の地域に個人市民税の1%程度の額の使い道を委ね、各地域が、地域のためになるよう予算の使い道を市に提案する地域分権制度に取り

組んでいる。
◆東近江市では、市民出資による太陽光発電設備から発生する電力を売電し、地産地消の理念から、商工会議所などと連携して地域商品券を出資者に還元している。

また、「菜の花プロジェクト」では、菜の花から搾油した菜種油を家庭や学校給食に活用し、油かすは肥料、廃食油は回収して、石けんや軽油代替燃料にリサイクルし、公用車の燃料とするなど、地域内で資源が循環する仕組みを構築している。これらの取り組みにより、市民の環境意識の向上、地域の活性化、循環型社会の推進を図っている。

【視察地・視察項目】

- ◎岡山市 (岡山県)
電子町内会の取り組み
岡山ESDプロジェクト
- ◎池田市 (大阪府)
地域分権の取り組み
- ◎東近江市 (滋賀県)
東近江SUN讚プロジェクト
菜の花エコプロジェクト

◆函館市は人口減少による税収の減少、社会保障関係経費の増大などの財源不足への対策として行財政改革プラン2012を策定し、基金の取り崩しなどに依存しない財政運営の確立を目標に財政改革を行っている。主な成果として保育園の民営化、給食調理業務委託の拡大、中学校の統合などが実施されている。



弘前地区消防事務組合

弘前市
「津軽地域4消防本部の
広域化視察資料」

◆青森市は以前より青森市成長戦略本部を設置し、調査を進めていた。人口は現在減少傾向にあり、平成57年に20万人、平成97年に10万人、平成112年には約7万5千人まで今後減少すると予測されている。総合戦略では3分野で8つの基本目標、44の施策を設定。人口維持に主眼を置き、平成87年以降の人口を約18万5千人で安定させることを目標としている。

◆弘前市は平成25年に8市町村の消防本部が統合し、消防の広域化を実施している。広域化の効果については、到着時間の短縮や消防団の初動体制の充実、8市町村

での経費負担による運営経費削減などの効果が挙げられている。5年を目途に負担金の按分、署所の配置人員等の見直し協議があり、老朽化した署所の適正移設や建てかえ、署所の統合も検討していくとのこと。

【視察地・視察項目】

- ◎函館市 (北海道)
函館市行財政改革プラン2012
- ◎青森市 (青森県)
青森市総合戦略
- ◎弘前市 (青森県)
津軽地域4消防本部の広域化

市民環境委員会

4月13～15日

5月11～13日

総務委員会

委員会視察

詳しくは、市議会ホームページ→委員会→「視察報告」をごらんください。

建設経済委員会

5月9～11日

教育民生委員会

4月26～28日

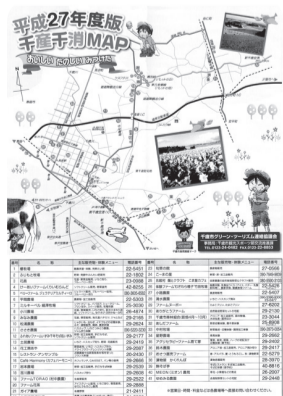
【視察地・視察項目】

- ◎札幌市 (北海道)
新・札幌市バリアフリー基本構想
- ◎苫小牧市 (北海道)
橋梁長寿命化修繕計画
- ◎千歳市 (北海道)
グリーンツーリズム

◆札幌市では、平成27年に「新・札幌市バリアフリー基本構想」の見直しを行い、バリアフリーの環境整備に取り組んでいる。地下鉄やJR駅ではエレベーターの設置、また、低床バスや福祉タクシーの導入により車両をバリアフリー化している。ほかにも、信号機や路外駐車場、都市公園のバリアフリー化が着実に進んでいる。

で試算すると266億円となり、約73.5%の削減効果があると試算される。

◆千歳市では、農業者による農産物直売所、農家レストラン、観光農園が整備されており、それらを通じグリーンツーリズム事業を行っている。現在、34カ所、95棟の関連施設の整備が計画されている。また、個々の農業者の取り組みを面的、組織的、継続的なものとするため、グリーンツーリズム連絡協議会を結成し、修学旅行の受け入れ、農業体験ガイドの作成などの取り組みを行っている。



千歳市「千産千消MAP」

◆苫小牧市では、事後的な修繕及びかけかえから、予防的な修繕及び計画的なかけかえへと政策転換することなどから、橋梁長寿命化修繕計画を策定した。事業の効果としては、平成25年から60年間

◆富山市の富山型デイサービスは平成5年に3人の看護師が開所した「デイケアハウスこのゆびとまれ」において赤ちゃんからお年寄りまで障害あるなしにかかわらず受け入れたことから始まり、富山型と呼ばれるようになった。高齢者、障害児・者、乳幼児を同じ施設で同時に処遇する共生ケアである。

【視察地・視察項目】

- ◎富山市 (富山県)
富山型デイサービス
- ◎金沢市 (石川県)
学校教育金沢モデル
玉川図書館
- ◎松本市 (長野県)
病児・病後児保育、休日保育及び子育て支援センター
「こどもプラザ」

玉川図書館は、旧専売公社金沢工場の建物に現代建築を融合させた建物が特色である。

◆松本市は家庭での子育てを支援するため4つのこどもプラザを開設。子育て親子の交流の場と交流の促進、子育て相談、地域の子育て関連情報の収集と提供、育児サークル活動の支援、子育て支援に関する講習の実施などの事業を行っている。また、病児保育を市内2カ所の病院で、病後児保育事業は2カ所のこどもプラザで、休日保育事業は1カ所のこどもプラザで実施している。



松本市「病後児保育室」

※ ESD = Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育) の略。環境、経済、社会のバランスの取れた持続可能な社会を実現するために、将来世代と地球全体のことを考え、地域で学び、行動する人づくりや取り組みを行うもの。

■議案の議決結果

(平成28年第2回定例会)

Table with columns for item name, result, and party affiliations (柏清風, 公明党, 日本共産党, 柏愛倶楽部, 市民サイド・ネット, 護憲市民会議, 無所属A, 無所属B, 無所属C, 無所属D). Includes sections for Mayor's proposals and Councilor's proposals.

■請願の議決結果

Table with columns for item name, main purpose, result, and party affiliations. Includes items regarding disaster prevention and childcare.

○：賛成、×：反対 反対には、態度保留、継続等を主張し賛成でない立場を含みます。議長は表決に加わりません。各会派の構成（無所属を含む）は下記に掲載しています。

9月定例会の日程(予定) table with columns for date and agenda items (招集日, 質疑並びに一般質問, 常任委員会).

議会を傍聴しませんか

柏市議会の本会議及び委員会は原則公開をしています。本会議の傍聴を希望される方は、本庁舎7階の傍聴席入口にある受付票に、住所、氏名を記入するだけで傍聴できます。



■会派名簿

◎：議長 ○：副議長

Table listing party names and councilor names (50音順). Includes parties like 柏清風, 公明党, 日本共産党, etc.

議会だよりに関する皆様のご意見をお寄せください。次回の議会だよりの発行は、11月1日(火)です。